



2026年1月期 決算補足説明資料

2026年3月13日

モロゾフ株式会社

(証券コード：2217)

代表取締役社長 山口 信二

決算短信サマリー【連結】

(単位：百万円・%)

決算短信表紙ご参照

	2025年1月期		2026年1月期				26.1.30開示 業績予想 25.3.14開示 配当予想	
	金額	売上比	金額	売上比	対前期 増減	増減率	金額	売上比
売上高	36,017	---	36,273	---	+ 255	+ 0.7	36,140	---
営業利益	2,058	5.7	1,264	3.5	▲ 793	▲ 38.6	1,280	3.5
経常利益	2,098	5.8	1,286	3.5	▲ 811	▲ 38.7	1,310	3.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,414	3.9	642	1.8	▲ 772	▲ 54.6	700	1.9
一株あたりの 配当金 (合計)	82円(27.3円)	---	16円	---	▲66(▲11.3)	---	14円	---
〃 (中間)	35円(11.6円)	---	6円	---	▲29(▲5.6)	---	6円	---
〃 (期末)	47円(15.6円)	---	10円	---	▲37(▲5.6)	---	8円	---
配当性向	39.7	---	50.2	---	+ 10.5	---	50.5	---
EPS (一株あたりの当期純利益)	68.85円	---	31.85円	---	▲ 37.0	---	34.63円	---
ROE (自己資本当期利益率)	7.2	---	3.3	---	▲ 3.9	---	---	---
ROA (総資産経常利益率)	7.8	---	4.8	---	▲ 3.0	---	---	---

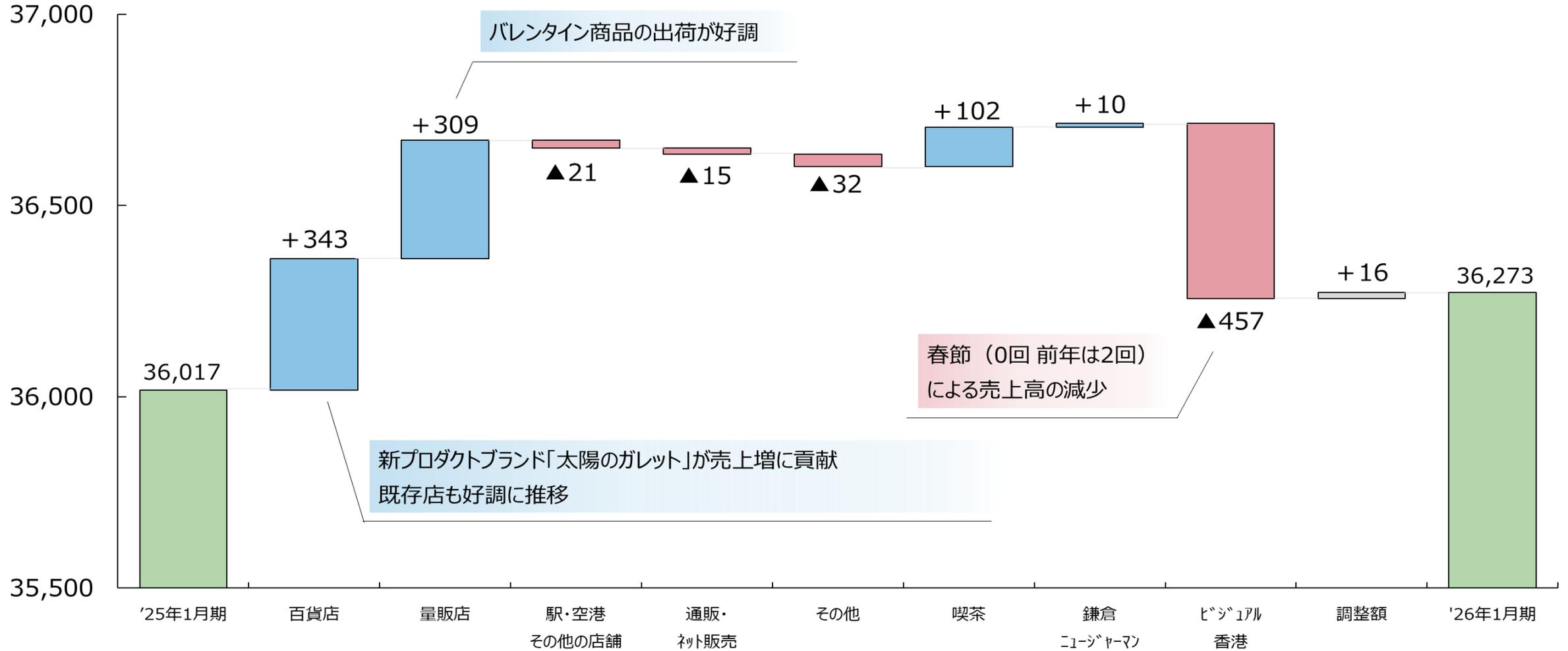
(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年1月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。()内は分割後の配当金です。

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

売上面の状況

決算短信 P 2 「1. 経営成績等の概況 (1)当期の経営成績の概況」ご参照

(単位：百万円)



売上面につきましては、消費者の節約志向の影響もあり洋生菓子等の自家需要の低迷がみられましたが、新ブランドやイベントの展開を進め、クッキーなどの焼菓子の売上獲得に努めたことやバレンタイン商戦が好調だったことにより、国内は堅調に推移しました。一方、海外では香港の子会社の春節の売上が当該期間に計上されなかったことにより大きく売上が減少した結果、当連結会計年度の売上高は36,273百万円（前期比0.7%増）となりました。

損益面の状況【連結】

決算短信 P 2 「1. 経営成績等の概況 (1)当期の経営成績の概況」ご参照

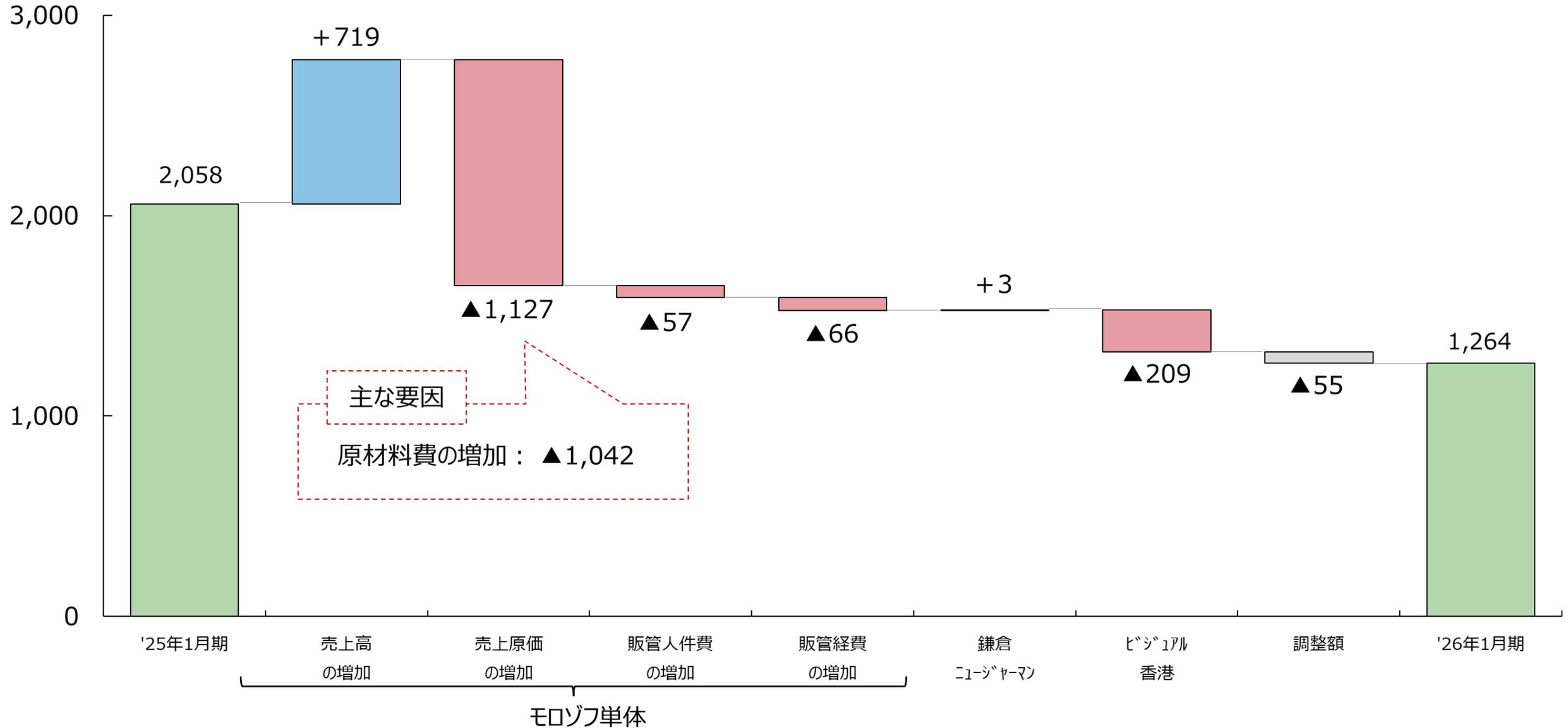
(単位：百万円)

	2025年1月期		2026年1月期				
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	対前期 増減率	増減幅
売上高	36,017	100.0%	36,273	100.0%	+255	+0.7%	---
売上原価	17,725	49.2%	18,750	51.7%	+1,024	+5.8%	2.5%
売上総利益	18,291	50.8%	17,523	48.3%	▲768	▲4.2%	---
販売管理費	16,233	45.1%	16,258	44.8%	+25	+0.2%	---
営業利益	2,058	5.7%	1,264	3.5%	▲793	▲38.6%	▲2.2%
経常利益	2,098	5.8%	1,286	3.5%	▲811	▲38.7%	▲2.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,414	3.9%	642	1.8%	▲772	▲54.6%	▲2.2%

損益面につきましては、店舗や工場の人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の設計変更や価格改定に取り組みましたが、力カオを中心とした原材料価格が高騰したことで売上原価率が大幅に上昇したことにより、営業利益は1,264百万円（前期比38.6%減）、経常利益は1,286百万円（前期比38.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は642百万円（前期比54.6%減）となりました。

2026年1月期 営業利益 対前年増減 分析

(単位：百万円)



セグメント別の販売実績【連結】

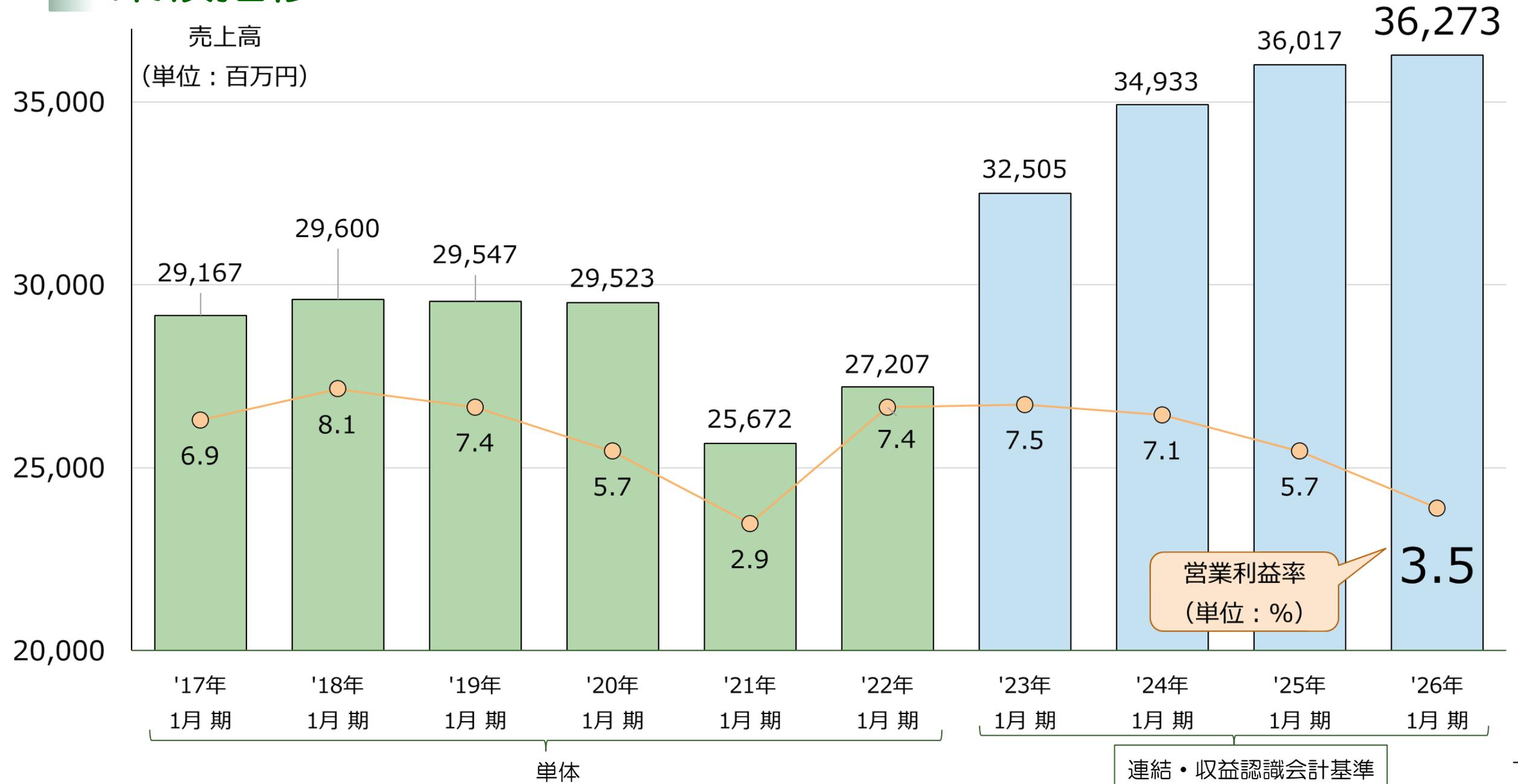
(単位：百万円)

	2025年1月期		2026年1月期		対前期	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
干菓子	24,831	68.9 %	25,111	69.2	279	+ 1.1
洋生菓子	8,430	23.4 %	8,284	22.8	△ 146	△ 1.7
その他菓子	777	2.2 %	804	2.2	27	+ 3.5
洋菓子製造販売事業 計	34,039	94.5 %	34,199	94.3	160	+ 0.5
喫茶・レストラン事業 計	1,977	5.5 %	2,073	5.7	95	+ 4.8
合計	36,017	100.0 %	36,273	100.0	255	+ 0.7

干菓子につきましては、百貨店等の店舗退店や香港の子会社での春節の売上が当該期間に計上されなかった影響はありましたが、素材と製法にこだわった新体験カスタードスイーツ専門店「CUSTA」3号店の日本橋三越本店へのオープン（2025年4月）、北海道産発酵バターを使用したガレット専門店「太陽のガレット」1号店の西武池袋本店へのオープン（2025年9月）、焼菓子を楽しむ新イベント「ベイクフルデー」の開催などにより焼菓子の売上獲得に努めました。また、万博向け商品の発売による売上貢献やバレンタイン商戦が好調だったこともあり、前年同期を上回る売上高となりました。

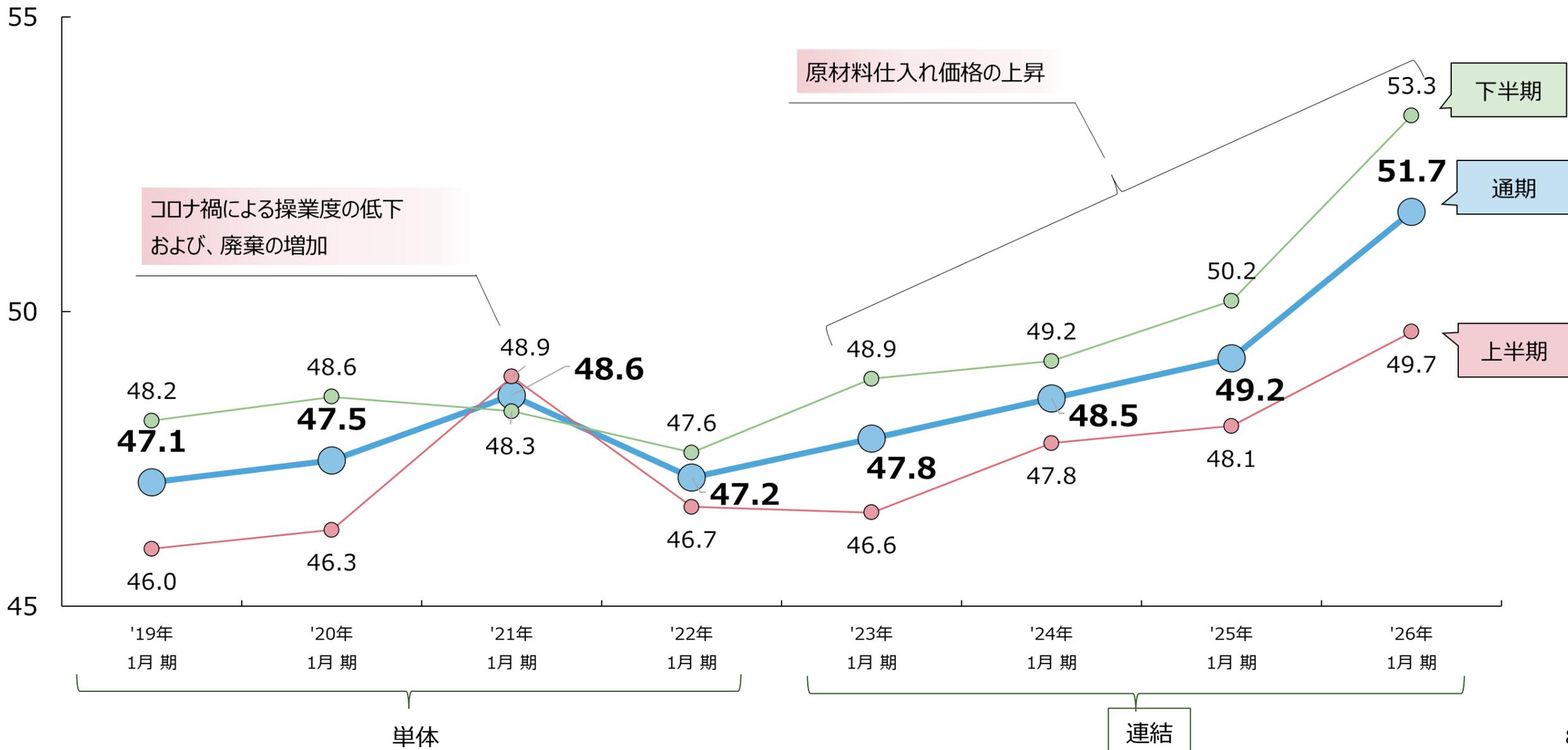
洋生菓子につきましては、2024年に発売55周年の記念商品を販売したチーズケーキの反動による減少に加え、消費マインド低下による買い控えの影響などにより、前年同期を下回る売上高となりました

業績推移



売上原価率推移 (収益認識会計基準)

(単位：%)



貸借対照表 サマリー

(単位：百万円)

	2025年 1月期	2026年 1月期	増減額		2025年 1月期	2026年 1月期	増減額
流動資産	15,293	13,426	▲ 1,866	負債	6,107	8,289	+ 2,182
現金 及び 預金	4,594	2,109	▲ 2,485	流動負債	5,412	6,954	+ 1,541
売掛金	6,892	7,788	+ 895	支払手形 及び 買掛金	955	1,016	+ 60
商品 及び 製品	2,372	2,419	+ 47	電子記録債務	529	517	▲ 12
その他 流動資産	1,434	1,109	▲ 325	短期借入金	1,510	2,145	+ 635
固定資産	10,297	14,736	+ 4,439	その他 流動負債	2,417	3,276	+ 858
有形固定資産	7,104	10,661	+ 3,557	固定負債	695	1,335	+ 640
無形固定資産	219	230	+ 10	純資産	19,483	19,873	+ 390
投資 その他の 資産	2,973	3,844	+ 871	株主資本	18,939	18,918	▲ 20
資産 合計	25,591	28,163	+ 2,572	その他 純資産	544	954	+ 410
				負債・純資産 合計	25,591	28,163	+ 2,572

キャッシュフロー計算書 サマリー

(単位：百万円)

	2025年1月期	2026年1月期		
	金額	金額	対前期 増減	増減率
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 561	399	960	▲ 171.2%
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 679	▲ 2,153	▲ 1,474	+ 217.0%
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,822	276	2,099	▲ 115.2%
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	▲ 7	▲ 25	▲ 146.0%
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	▲ 3,046	▲ 1,485	1,561	▲ 51.2%
現金及び現金同等物の期首残高	6,640	3,594	▲ 3,046	▲ 45.9%
現金及び現金同等物の期末残高	3,594	2,109	▲ 1,485	▲ 41.3%

2027年1月期の通期業績予想【連結】

決算短信表紙

P 2 「1. 経営成績等の概況 (4)今後の見通し」ご参照

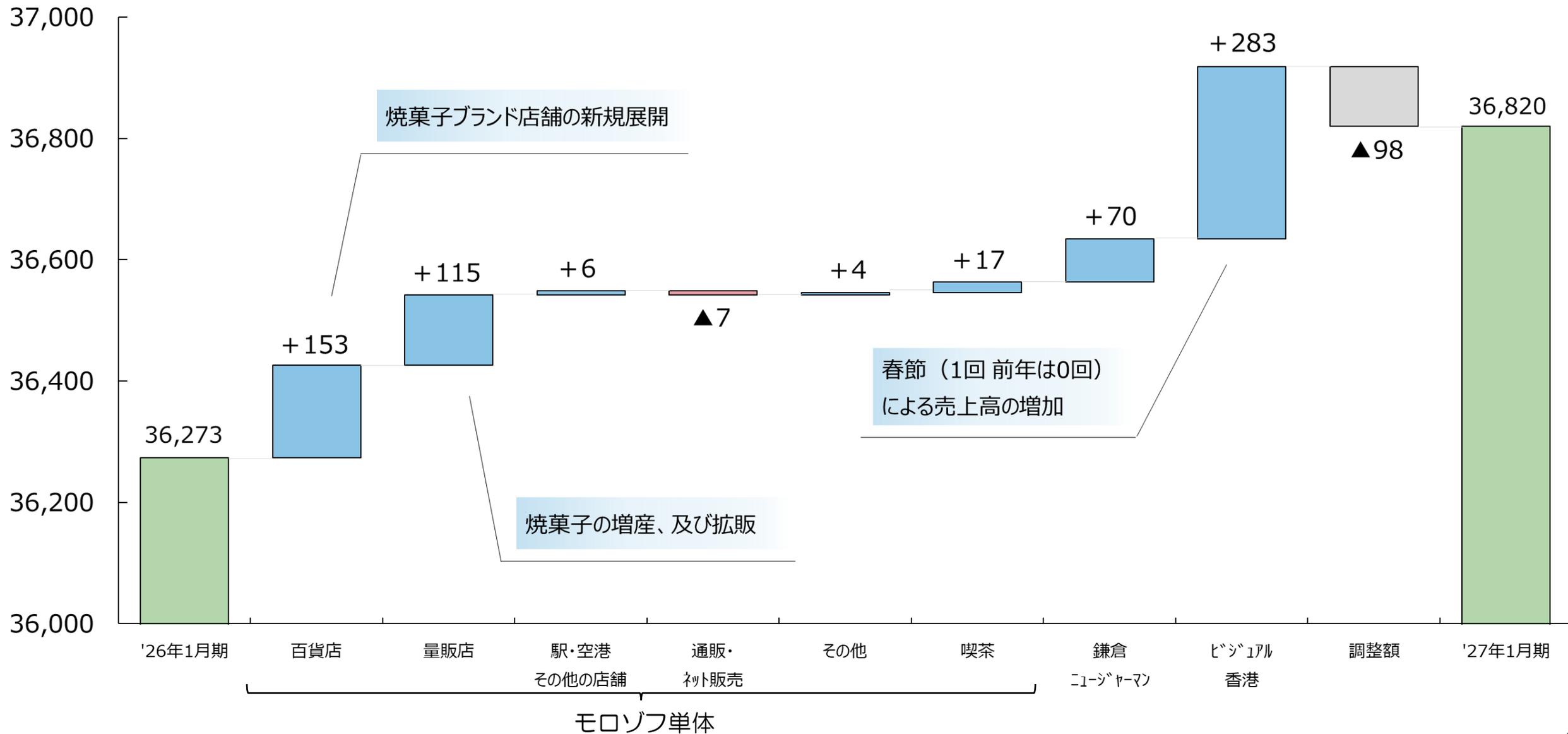
(単位：百万円)	2026年1月期		2027年1月期			
	金額	売上比	金額	売上比	対前期 増減	増減率
売上高	36,273	---	36,820	---	+ 546	1.5
売上原価	18,750	51.7	18,996	51.6	+ 246	▲ 0.1
営業利益	1,264	3.5	1,310	3.6	+ 45	3.6
経常利益	1,286	3.5	1,350	3.7	+ 63	5.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	642	1.8	770	2.1	+ 127	19.8
一株あたりの 配当金 (合計)	16 円	---	16 円	---	0	---
〃 (中間)	6 円	---	6 円	---	0	---
〃 (期末)	10 円	---	10 円	---	0	---
配当性向	50.2	---	41.7	---	▲ 8.5	---
EPS (一株あたりの当期純利益)	31.85 円	---	38.34 円	---	+ 6.5	---
ROE (自己資本当期利益率)	3.3	---	3.9	---	+ 0.6	---
ROA (総資産経常利益率)	4.8	---	4.5	---	▲ 0.3	---

売上高では、国内において、継続的な物価上昇により消費者の節約志向は強まっているものの、新焼菓子ブランドの出店による売上増などが見込まれることや、海外において、2026年1月期に計上されなかった香港の子会社での春節売上が計上される見込みのため、通期の連結売上高は36,820百万円（前期比1.5%増）を想定しております。

損益面では、新工場の稼働に伴う減価償却費の増加、原材料価格の継続的な上昇、最低賃金上昇による人件費の増加などのコストアップ要因が見込まれます。これらの要因に対し、価格改定や商品設計の見直しなどの原価低減対策、工場・店舗における生産性の向上を図ることで、通期の連結の営業利益は2026年1月期を上回る1,310百万円（前期比3.6%増）を想定しております。

2027年1月期 売上高 対前年増減見通し

(単位：百万円)



2027年1月期 営業利益 対前年増減見通し

(単位：百万円)

